

～ 秋の虫たち 顔ぶれ拝見 ～

… 木の実や早い紅葉も見逃さず

NEO POCKET 昆虫 (小学館/2010初版) など使用、作成。



相生山の四季を歩く会 2020.10.11

バッタ目

丈夫な大あご。後ろ脚発達し、飛び跳ねる。薄くて大きな後ろ翅を、固い前翅に隠す。

キリギリス  
コオロギ  
の仲間

スズムシ、マツムシ、カネタタキ、カンタンなど「秋の虫」はこの子たち。

前脚に棘が多く、獲物を捕らえる。

長い触覚。前脚に鼓膜。翅は短く、あまり飛ばず。



キリギリス

草原にすむ。●キリギリス科 ●40mm前後  
●本州～九州 ●6～9月 ●雑食性  
♪ギーツチョン

み前翅に発音器、こすり合わせて発信。



ヤブキリ

成虫は樹上にすむ。  
●キリギリス科 ●30～40mm  
●本州～九州 ●6～8月  
●昆虫など ●ジエ

♀は長い産卵管。

イナゴ  
バッタ  
の仲間

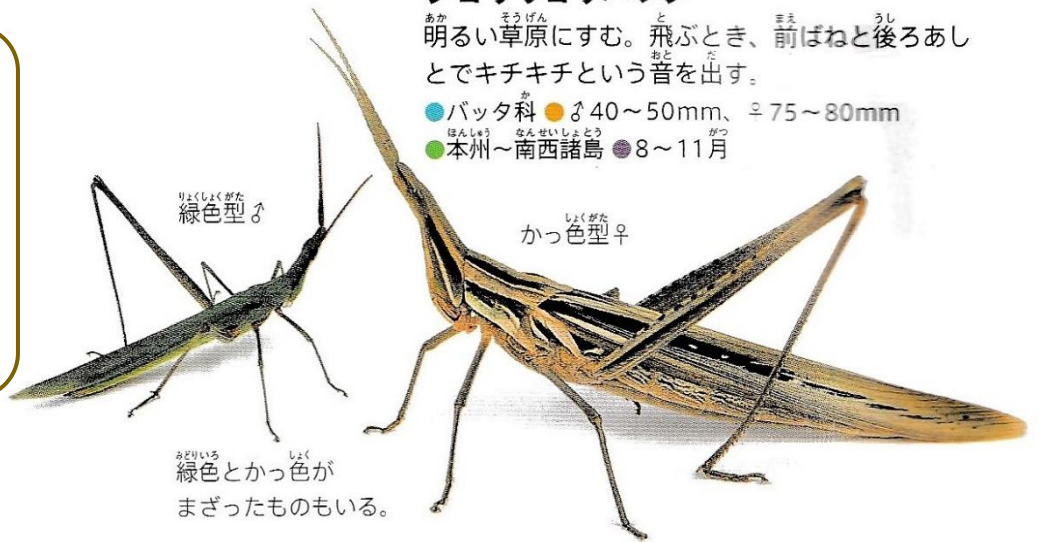
触覚は太く短い。腹部に鼓膜持つものもある。み前翅と後ろ脚を擦り合わせて単調な音を出す。♀短い産卵管。幼虫も成虫も、主に草食。

オンブバッタ、トノサマバッタなど、昔の子どもたちの遊び友だち。

ショウリョウバッタ

明るい草原にすむ。飛ぶとき、前ばねと後ろあしとでキチキチという音を出す。

●バッタ科 ●♂40～50mm、♀75～80mm  
●本州～南西諸島 ●8～11月



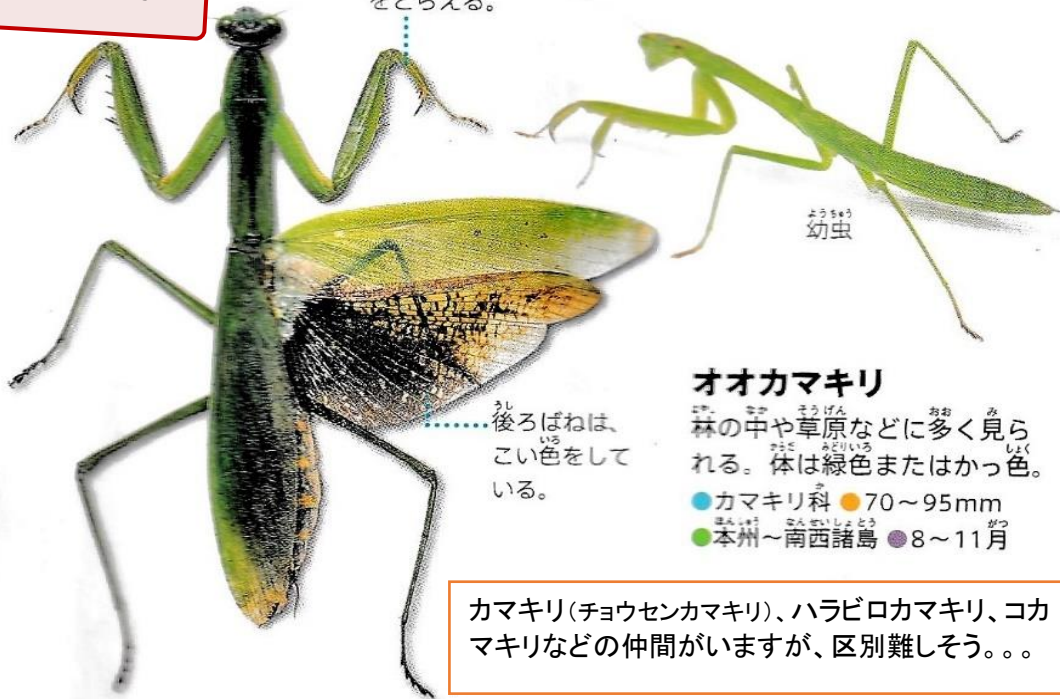
緑色型♂

かっ色型♀

緑色とかっ色がまざったものもある。

カマキリはバッタ類より、少し進化した種なのかも？

かまのような形の前あしで、えものをとらえる。



後ろばねは、こい色をしている。

オオカマキリ

林の中や草原などに多く見られる。体は緑色またはかっ色。

●カマキリ科 ●70～95mm  
●本州～南西諸島 ●8～11月

カマキリ(チョウセンカマキリ)、ハラビロカマキリ、コカマキリなどの仲間がいますが、区別難しそう。。

カマキリ目

複眼は大きく、前を向く。三角形の頭は自由に動かせる。多くの種には翅があり、腹部を覆うように平らに畳んでいる。

成虫も幼虫も、鎌のような前脚で昆虫などを捕食。♀は大きな卵嚢を産み、卵で越冬する。

昨年7月から4回の虫観察会で出会った昆虫たちを、一覧表にまとめました。みんな相生山の貴重な仲間です。別紙ご覧ください。

相生山のドングリ (団栗)  
のなる木を極めよう

日本どんぐり大図鑑  
(借成社/2004初版)  
などを参考に作成。

ブナ科の果  
実=堅果

殻斗と果実  
の形に注目  
しよう!

殻斗は  
ウロコ模様

コナラ(小櫟)  
落葉高木

葉や果実  
の形状、  
個体差大。

ミズナラ(水櫟)  
=大櫟に対して、  
コナラと呼ばれる。

クヌギ(櫟)  
にそっくり。  
クリ(栗)とも  
似ている。  
←葉の裏に  
毛が密生。

果実は2年性  
→なので落下  
が早い?

殻斗は  
もじゃもじゃ

果実は丸っ  
こくて、殻斗  
から飛び出  
しそう。

葉身の先か  
ら1/3部分が  
一番広い

殻斗は  
シマ模様

アラカシ(粗櫟)  
常緑高木

鋸歯が粗い。  
樹形も粗い?

シラカシ(白櫟)  
常緑高木

材が白っ  
ぽい。

ウバメガシ(姥目櫟)

常緑低木

材の比重  
=0.99

ホンモノの  
備長炭の材料

葉は束性。

殻斗は  
ウロコ模様  
カシなのに!

相生山緑地の南部に多い。  
海岸性に関係あるか?

果実は  
2年性。

コバノガマ  
ズミも赤く  
なりました。



次回は  
11月8日(日)9:30  
~木の実を見れば分かること

連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

e-mail: viva\_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラブリーアース → 検索

ブログ: 相生山からのメッセージ

人は  
自然の  
一部。  
壊したら  
生きられ  
ない!



今回は傍聴無しですが、応援よろしく。

相生山緑地の将来のあり方について、  
みなさんと話し合う検討会を開催します。  
参加者の方々は、相生山緑地について  
グループワークで話し合ってください。  
検討会は、令和2年度に2回開催し、  
令和3年度以降も継続する予定です。

相生山緑地のあり方検討会

**相生山緑地をみんな  
考えよう!**

日時: 令和2年10月18日(日)10時~12時  
会場: 野並小学校体育館 又は 天白区生涯学習センター  
(新型コロナウイルスの感染状況に応じて、会場を決定します。)  
参加者: 山根・相生・野並学区にお住いの方、  
市民団体の方、学識者、名古屋市緑政土木局職員